



あゆ みち わたしの歩んだ道

わきた さやか
脇田 紗也加 さん

〈プロフィール〉

13歳でカナダへバレエ留学し、15歳でドイツのベルリン国際バレエコンクールで金メダルを受賞、ローザンヌ国際バレエコンクールに2度出場。現在はドイツのバレエ団で活躍中。春日井市出身。

好きなことに没頭した子ども時代
小さい頃は静かでおとなしい性格で、読書や手芸など好きなことに時間を忘れて没頭してしまつような子どもでした。バレエを始めたのは6歳の時。当時通っていた水泳教室の隣にあるバレエ教室に興味を持ち、学校の友達と通つたつになりました。

こども広報春日井 平成29年冬号（12月発行）

本格的に勉強するため海外へ

13歳の時に、海外で生まれた指導法を知り、基礎の必要性やバレエに厳しいルールがあることを教わりました。今までのバレエが趣味止まりだったことにショックを受け、日本を離れてより本格的にバレエを勉強したいと決意し、その約1か月後にカナダへ行きました。

バレエは自分との闘い

日々の練習、トレーニングやリハールを毎日9時間以上する中で、体のコンディショニングを整えることがとても重要です。舞台前にはがをして、数か月休まないといけなくなつてしまった時は、とてもつらく悔しい思いをしました。しかし、舞台で役になりきれた時や、「あなたの踊りが私の生きがいだ」と言ってもらえた時は本当にうれしかったです。

日本を代表して国際プロジェクトに

19歳の時、アルメニアという国で行われた国際平和のためのプロジェクトに、日本代表として呼ばれバレエ公演を行いました。踊りを通して、アルメニアの悲しい歴史を語り、それをどう未来につなげていくかを表現しました。見に来ていたさまざまな国の大使に、悲惨な歴史を伝えることができました。バレエの魅力は、世界共通の言語として、世界平和にも貢献できるところだと思えます。

広い視野で常に自分を高めたい

子どもの頃から小さな目標を一つ一つ達成していくことが好きでしたが、現在は広い視野で物事を見るようにしています。現在通っているハーバード大学を成績優秀で卒業することやバレエをより上達させることはもちろんですが、その他の分野でも自分を高めて



いくつか方法を常に考えています。

いつか春日井の皆さんに踊る姿を

1年のほとんども海外で暮らしていますが、春日井には年に1、2回帰ります。春日井に帰ってきて、子どもたちが川や落合公園などで遊んでいる姿を見ると、自分の子どもの頃を思い出してとても懐かしくなります。いつか春日井の皆さんに踊る姿を見せることができたらと夢見ています。

ゆめ 夢をかなえるために

とにかくいろんな分野の本を読んで自分の世界を広げることが大事です。やりたい事や知りたい事は、周りの反応を恐れずにどんどん追及して、挑戦してください。その集中力や情熱、勇気、そして決意があれば、自分の思い描く未来を開けると思っています。



発行／春日井市 056888-1511（代表）
編集／企画政策部広報課 056888-516036
〒486-8686 愛知県春日井市鳥居松町5-44